

他社購入・販売電力料

2023年4月11日
北陸電力株式会社

他社原子力発電の織込み【日本原子力発電からの受電費用】

- 日本原子力発電の敦賀発電所2号機（以下、敦賀2号機）については、共同開発的な性質を有する発電所であることから1987年の営業運転開始以降、発生電力の全量を各社（関西・中部・北陸）が受電しております。
- 敦賀2号機からの受電費用は、現在、同ユニットが停止中であることから、電力量料金の減少はあるものの、基本料金の増加が見込まれることから、現行原価対比で+15億円/年の受電費用増となっております。
- なお、敦賀発電所1号機については、2015年4月に営業運転が終了したことから、運転終了後も必要となる安定状態維持、廃棄物の処理、使用済み燃料の保管等の費用について織り込んでおります。
- また、費用については、自社並みの効率化（▲6%）を織り込んで算定しております。

◆敦賀発電所の概要

	燃種	受給電力	概 要
日本原子力発電（株）	原子力	— kW	敦賀発電所1号機は2015年に営業運転を停止
		37.6万kW	敦賀発電所2号機の電力を購入

◆今回申請原価（現行原価対比）

（単位：億円）

	今回（2023～2025）A	現行（2008原価）B	差引 A - B
敦 賀 2 号 機	141	126	+15
基本料金	141	92	+50
電力量料金	—	35	▲35
（参考）敦賀1号機	10	31	▲21
基本料金	10	29	▲19
電力量料金	—	2	▲2

他社原子力発電の織込み【敦賀2号機からの受電費用詳細】

- 敦賀2号機からの受電費用のうち、基本料金については、以下の考え方に基づく費用を織り込んでおります。
 - 停止状態を安全に維持・管理するための費用（現行法令に基づき運転期間延長認可（期限：2027年2月）を受ける必要がある※ことから、当該認可に必要な費用を含む）
- 今回申請原価は、運転期間延長認可申請に係る費用および一般負担金の新規織込みにより現行対比で増加しております。
- なお、安全性向上対策工事および特定重大事故等対処施設に係る費用は織込んでおりません。

※現行の「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」および関連省令等に基づき規定。

◆今回申請原価（現行原価対比）

（単位：億円）

	今回（2023～2025）A	現行（2008原価）B	差引 A - B
敦 賀 2 号 機	141	126	+15
基 本 料 金	141	92	+50
（再掲）延長認可費用 ＜委託費・修繕費＞	34	—	+34
（再掲）一般負担金	10	—	+10
電 力 量 料 金	—	35	▲35

◆運転期間延長認可に係る費用について

- 敦賀2号機は運転開始(1987年)から40年を迎える2027年までに運転期間延長認可を受ける必要がある。
- 運転期間延長認可（期限:2027年2月）にあたっては、**法令上の延長申請期限（2026年2月）※までに、設置変更許可、設計及び工事の計画の認可を受ける必要があるため、当該許認可に要する費用は原価算定期間中に発生。**

※ 現行の「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」により規定。

（敦賀2号機は、2026年2月16日までに運転期間延長申請し、2027年2月16日までに当該認可を得る必要がある）